

経専北海道どうぶつ専門学校（動物看護師科）の

人材育成目的・教育目標及び各ポリシー

■人材育成目的

本校は、学生が就職3年後に「学校で身につけた専門的な基礎知識・技術を駆使しながら、社会人基礎力を磨き、職場で重要な戦力となり活躍している」ことを育成目的とし、具体的には

- ①後輩指導ができること（新人としての心構えと新人が担当する自分の範囲の仕事の指導）
- ②率先して自分が担当する業務の改善に取り組めること
- ③業界や仕事の魅力を語れること

を掲げます。

※「重要な戦力」＝「責任感と探求心、及びリーダーとしてのスキルを持っている人」と定義します

■教育目標

本校は、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」を育成する。その為に、専門職業力（専門職としての基礎力）、社会人基礎力（社会人としての基礎力）、高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）の現場3要素を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成する」ことを教育目標とします。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士称号に関する方針）

本校の定めるカリキュラムを履修し、教育目標に掲げる「専門職業力（専門職としての基礎力）」「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」の現場力3要素を修得し、「現場力のある人材＝就職後に伸びる人材（「戦力化する」「辞めない）」として認められる学生に対し卒業を認定し専門士を授与します。

【1】「戦力化」する人材となるために必要な下記の修得目標の達成を目指します。

- 専門職業力として①動物看護師統一認定試験を取得し、動物医療チームの一員として働くために協働精神の必要性を理解すること②根拠に基づいた安全で確かな看護技術【保定、検査、治療補助、器具の片付け、入院患者の世話】を身に付けるという目標の達成
- 高い職業意識と意欲として『目指す職業の社会的意義及び業務内容と動物の命を扱う責任感を理解すると共にその魅力・遣り甲斐・厳しさを認識した上で就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになること』の達成

【2】「辞めない」人材となるために必要な下記の修得目標の達成を目指します。

- 高い職業意識と意欲として『目指す職業の社会的意義及び業務内容と動物の命を扱う責任感を理解すると共にその魅力・遣り甲斐・厳しさを認識した上で就業に対して主体的な意識を持って取り組めるようになること』の達成
- 社会人基礎力の修得目標（「爽やかで元気な挨拶」「TPOに合わせた言葉遣い」を習慣化すると共に仕事をする上で重要な「報告・連絡・相談」「チーム力」の必要性を理解しその為に必要なコミュニケーション能力を高めること）の達成。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本校は、ディプロマポリシーに掲げる修得目標などを修得させるために、専門知識系科目と専門技術系科目及びその他必要な科目を体系的に編成し、座学、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。

【1】「専門職業力（専門職としての基礎力）」についての方針

専門職としての基礎力とは、自分が目指す職種だけではなく業界（職種）全体が理解・把握できる力を兼ね備えている事だと考えます。その為に、専攻科の専門科目に業界に必要な科目を加え、その内容を関連団体・企業からなる教育課程編成委員会にて確認しながら、必要に応じ科目及びシラバスの見直しを行い、最新の知識と技術を習得できるカリキュラムを編成します。

【2】「社会人基礎力（社会人としての基礎力）」についての方針

社会人基礎力は業界で求められるマナーの習得を基本とし、動物業界で求められるコミュニケーション力を養うため、実習科目において共同および個別作業の工程を通じ業界スタッフとしてコミュニケーション力の必要性を自覚できるカリキュラムを編成します。

【3】「高い職業意識と意欲（プロ意識と成長・自己実現に向けた意欲・力）」についての方針

高い職業意識と意欲の育成の為に、学内での学びが動物病院でどのように活かされているのかをイメージでき、且つ実践できる環境を整える為、動物業界への見学、研修を取り入れたカリキュラムを編成します。それにより業界スタッフとしての意欲を高め、実習にて主体的に取り組めるようにします。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本校は、教育目標に定める人材を育成するために下記のような意欲に溢れる人を受け入れます。

本校が求める学生像

- 人や動物に感謝する気持ちと思いやりあふれる心を持っている人
- 元気で明るく挨拶ができて礼儀正しい人

高校までに培った力を評価する方法

- 目標に向かって積極的に取り組む行動力やコミュニケーション力を、入学前のAO面談や奨学生制度での面接試験を通して確認する

教育を通じて育てる力

- 動物と関わる仕事の責任を理解し、自分の目標を達成するために努力をする力

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。